

新任教員・昇任教員紹介

新規選出教員役職者



大学院副院長
吉田 純一 (よしだ じゅんいち)

新任教員



薬学部准教授
(薬理学講座)
中川 勉 (なかがわ つとむ)

北海道大学薬学部総合薬学専攻卒業。同大学院薬学研究科臨床薬学専攻修士課程修了。同大学院薬学研究科臨床薬学専攻博士課程修了。大阪大学大学院医学系研究科生化学講座博士研究員、テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター研究員、神戸大学大学院医学研究科特命講師(臨床薬理学)などを経て、本学就任。薬学博士。



看護福祉学部助教
(看護学科母子看護学)
丸山 奈己 (まるやま なみ)



リハビリテーション科学部助教
(理学療法学科)
岩部 達也 (いわべ たつや)

昇任教員



薬学部教授
(薬理学講座)
柳川 芳毅 (やながわ よしき)

北海道大学薬学部卒業。同大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了。言霊製薬株式会社(現田辺三菱製薬)東京研究所主任、北海道大学遺伝子病制御研究所病態研究部門免疫生物分野助教、水辺ネグロ大学薬学部客員研究員、本学薬学部薬理学講座(病態生理学)准教授などを経て、教授昇任。薬学博士。



歯学部教授
(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))
飯嶋 雅弘 (いじま まさひろ)

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。本学歯学部矯正歯科学講座助手、オハイオ州立大学歯学部客員研究員、本学歯学部矯正歯科学講座准教授などを経て、教授昇任。歯学博士。



リハビリテーション科学部講師
小林 健史 (こばやし けんじ)

日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科、札幌医療福祉専門学校言語聴覚療法専攻科卒業。明星大学大学院人文学部研究科教育学専攻博士前期課程(通信教育課程)修了。中経洋行児童サービスセンター言語聴覚士。本学心理学部言語聴覚療法学科助教、北海道医療大学病院言語聴覚治療室言語聴覚士などを経て、講師就任。

言語聴覚療法学科の高倉祐樹助教が最優秀研究発表賞を受賞。

10月6・7日(土・日)、宮城県仙台市で開催された第21回認知神経心理学研究会において、リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の高倉祐樹助教(北海道医療大学病院言語聴覚治療室勤務)が最優秀研究発表賞を受賞しました。

「慢性期皮質下性失語例に対する意味属性分析 (Semantic feature analysis:SFA) 訓練の試み」

発表者: 高倉祐樹、大槻美佳、宇野彰

近年、失語症の呼称障害に対して、意味属性分析(Semantic feature analysis:SFA)という訓練手法の有効性を示唆する研究が増加していますが、国内での報告はまだ少ないのが現状です。本研究は、呼称障害を主症状とした1例に対するSFA訓練の効果を、他の訓練法(復唱的呼称訓練)との比較を通して明らかにしたものです。本研究で得られた結果は、より多数例での訓練効果の検証や、失語症の病態に応じたより効果的な訓練プログラムの構築に役立つことが期待されます。



2018年度 語学研修 アルバータ大学(カナダ)において 語学研修を実施しました。

8月4日(土)から24日(金)までの21日間、17名の学生(薬学部4名、看護福祉学部11名、心理科学部1名、リハビリテーション科学部2名)がカナダのアルバータ大学において、語学研修プログラムに参加しました。

午前の語学クラスでは、ダウンタウンのキャンパスでレベル別のクラスで英語を学び、午後からはメインキャンパスの学部別ツアーや、障害者施設訪問、アルバータ州議事堂見学、歴史村散策などの様々な学外アクティビティを体験しました。また、2泊3日のロッキーツアーでは、世界遺産であるカナディアンロッキーを訪れ、「ロッキーの宝石」と呼ばれるエメラルド色の湖水のレイクルーズなど壮大な自然の中でネイチャーウォークや、カヌーを楽しみました。カナダ滞在中、学生はカナダ人の家庭でホームステイをし、生活習慣や文化、生きた英語を学びました。

本研修は、看護福祉学部のワード・ターノフ教授と薬学部の遠藤朋子助手が引率し、本学のモニターとなったアルバータ大学看護学生のMattくんとともに学生の研修を支援しました。

